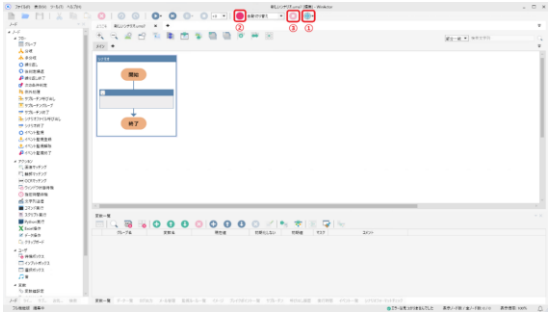
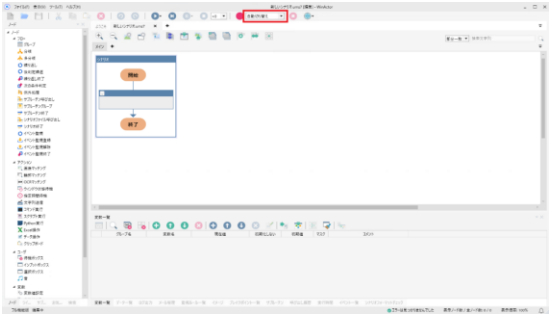
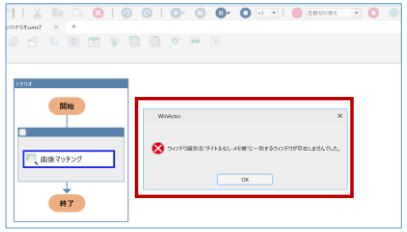
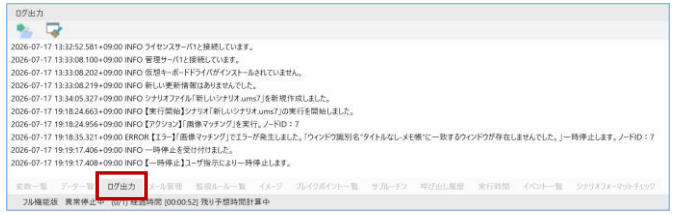
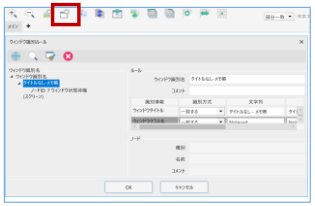
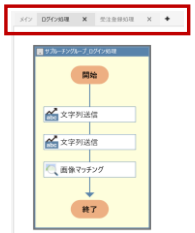
WinActor初級者セミナーQ&A（2026/10/27開催）

No.	カテゴリ	質問	回答
1	自動記録	自動記録モードの操作手順をもう一回知りたいです。 どこにあるか分かりません。	自動記録モードは、以下の手順で進むことができます。 ①WinActorの画面の右上にある水色のボタンを押し、記録したい画面をクリックして選択する。 ②赤色の録画開始ボタンを押し、記録対象の画面を操作する。 （→WinActorが操作対象のプログラムを解析し、部品が生成される。） ③記録したい操作が終了したら、水色のボタンの隣にある、赤色の停止ボタンを押す。 
2	自動記録	画像認識以外に、オブジェクト認識を指定することはできますか？ また自動記録で記録されるのは画像認識ですか？	Excelやブラウザ等については、オブジェクト認識による操作が可能です。 また、Windowsのアプリについても、UI Automationという技術を使用して、オブジェクト認識が可能となっております。 自動記録の際には、選択した操作対象のウィンドウに応じて適切な指定方法が自動的に設定されます。 画像認識や座標指定などの特定のモードを指定して記録したい場合は、以下画像の赤枠のリストから記録モードを手動で変更することもできます。  記録モードは、エミュレーションモードや画像マッチングモードなどの8種類と、 これらのモードを自動的に切り替える「自動切り替えモード」があります。 詳細につきましては、WinActor操作マニュアル「1.9 操作の記録」をご参照ください。 https://winactor.biz/docs/JP_Ver770_WinActor_Operation_Manual.pdf#page=30 操作対象によって最適な認識方法は異なりますので、実際の動作をご確認いただきながら、 最も安定して動作する方法をお試しいただければと存じます。

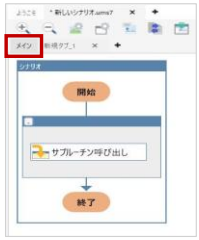
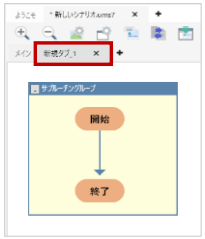
WinActor初級者セミナーQ&A（2026/10/27開催）

No.	カテゴリ	質問	回答
3	シナリオ設計	自動記録モードやエミュレーション以外にも、自分の手でシナリオを作成することは可能でしょうか？	はい、可能です。 WinActorでは、ノードやライブラリなどの部品を組み合わせて、手動でシナリオを作成することもできます。 自動記録で生成される部品についても、ノードやライブラリを利用して作成されておりますので、 同様のシナリオを、部品一覧から手動で配置して作成することも可能です。 また、すべての処理を自動記録または手動のどちらか一方で作成する必要はなく、 実現したい処理に応じて、自動記録と手動での作成を組み合わせることも可能です。 例えば、 ・WebやExcelなどの画面操作：自動記録を活用して、操作内容をシナリオに記録する ・繰り返しや条件分岐などの処理：必要なノードを手動で追加・設定する といったように、処理の内容に適した方法を組み合わせることで、より効率的に実際の業務に沿ったシナリオを作成できます。
4	シナリオ設計	対象者を絞って、その人達だけに決まった操作を行いたい場合は、エクセルで該当者の情報を読みこむ方法になるのでしょうか？	Excelのフィルターで対象者を絞り込み、処理を行いたい場合は、ライブラリ「18_Excel関連 ＞ 10_フィルタ設定」内の部品をご活用ください。 また、ある特定のユーザー名に対してのみ何らかの操作を行いたい場合は、 ノード「分岐」「多分岐」等で該当のユーザー名であるかを判定できます。 これにより、Windowsのユーザー名や、ブラウザにログインしているユーザー名によって処理を実行するかどうかを分岐させることも可能です。 ・ユーザー名の取得方法： ・ライブラリ「22_OS関連 ＞ コンピュータ名取得」でWindowsのユーザー名を取得する ・ブラウザへログインした際に入力したユーザー名を保存しておく、等 上記を参考に、お客様の実現したい運用に合わせて、シナリオの構成をご検討ください。

No.	カテゴリ	質問	回答
5	シナリオ設計	エラー処理、止まらないシナリオ作成の仕方を知りたいです。	1.エラーダイアログのメッセージを確認します（原因の8割はここで見当がつきます） 2.実行ログで、エラー直前のノード、マッチ率、XPathなどを確認します 3.「画面キャプチャ（デスクトップ）」ライブラリを入れておくと、調査がさらに楽になります 4.Ver.7.5以降は、一時停止中にノードの設定を直して、そのまま再実行できます 5.「例外処理」ノードでリトライ処理を組み込むと、エラーで止まりにくいシナリオになります   エラー防止のコツについては、過去のセミナー内容もあわせてご参照ください。 ・画像マッチングが急に使えなくなる場合は、ウィンドウ識別ルールを緩める、マッチ率を85～95%に調整する、画面倍率を100%に揃える、画像の検索範囲を絞る、といった対処があります。 ・エミュレーションのクリックが効かない場合は、前に「ウィンドウ状態待機」や「指定時間待機」を入れると解決することが多いです。 ・XPathは関数（contains()、text()など）を使って、変化に強い指定にします。 ・変数・パス・URLはシナリオの最初にまとめ、直す場所を1か所に集めます。 ・画面倍率やブラウザのバージョンは、端末間でそろえます。  画面倍率、解像度（Windowsの設定）  ウィンドウ識別ルール画面

No.	カテゴリ	質問	回答
6	WinActor機能	シナリオが長くなってしまった場合、任意の場所に飛べるような設定はありますか？ （毎回シナリオをスクロールするのが手間だと感じています）	シナリオの中で目的のノードに移動したい場合には、検索ウィンドウを利用します。 フローチャート画面でCtrl＋Fを押すと検索ウィンドウにカーソルが移動するので、 そこでノード名（の一部）やノードIDを入力すると目的のノードに移動できます。 また、シナリオの可読性の向上については、以下をお試しください。 ■シナリオが長くなってしまい見づらい状況を改善したい →「グループ」と「サブルーチングループ」というノードの活用をご検討ください。 1.グループで処理をまとめる ・大分類（システム単位、或いはある程度の処理単位）をグループでまとめ、検索しやすい名前を付ける ・細かい処理のグループは閉じてしまう。 （例：Excelからセルの値を取得する処理が10個並んでいる場合、それらをグループにまとめ、"Excelから値を取得する"と名前をつける。 さらに、そのグループは閉じてしまう。） 2.サブルーチンでタブを分ける ・大きな単位でグループにまとめたものはサブルーチンに配置し、別タブへ移動させる。 ■シナリオの途中に部品を差し込み、任意の場所に飛びたい →サブルーチングループの活用をご検討ください。 ・サブルーチングループ シナリオ内での処理をグループとしてまとめておき、サブルーチン呼び出しで処理を呼び出すことが可能です。 ※参考情報 シナリオファイル呼び出し、シナリオGotoを活用して別シナリオを呼び出すことも可能です。 ・シナリオファイル呼び出し シナリオ内から別シナリオを呼び出して処理を実施することができます。 別シナリオの終了後はシナリオ内のその後の処理を継続します。 ・シナリオGoto シナリオ内から別シナリオを呼び出して処理を実施することができます。 別シナリオの終了後はシナリオへは戻らず、そのまま処理が終了します。 1．グループで処理をまとめる  2．サブルーチンでタブを分ける 

WinActor初級者セミナーQ&A（2026/10/27開催）

No.	カテゴリ	質問	回答
7	WinActor機能	WinActorのタブを分けてシナリオを見る方法はありますか。	1つのシナリオファイルで、タブを追加してフローチャートを編集することができます。 ただし、現状では1つのタブのみを表示可能となっており、複数タブを並べての確認はできなくなっております。  
8	トラブルシュート	「ブラウザとの接続に失敗しました」と表示される場合、何が原因ですか？	問題のエラーが「ブラウザとの通信に失敗しました。」の場合、ブラウザとWinActor間の通信が正常に行えていない可能性がございます。 お手数ですが、下記対応をお試しください。 ・拡張機能の再インストール ・ブラウザの起動後、しばらく間を開けての記録の実施 ・端末の再起動 もし上記対応でも解決しない場合、ご利用の環境に起因して発生している可能性がございます。 お手数ですが、お取引・お問合せされている販売店へご相談をお願いいたします。
9	トラブルシュート	システムの一元出品登録画面にて、商品状態(変数)が正確に選択できずエラーが頻発しており改善方法を教えていただきたいです。	お取引・お問合せされている販売店へご相談をお願いいたします。 その際、対象システムをどのように人が操作しているか（Windowsアプリケーション、ブラウザ経由での操作）、操作時の画面キャプチャ、WinActorで実行しているノード/ライブラリの情報をご共有ください。 WinActorメニュー[ヘルプ]-[問い合わせ用情報収集]で、実行ログが取得できますので、上記とあわせてご連絡ください。 また、Ver.7.7.0以降ではAIヘルプ機能(無償で利用可能)を搭載しています。 エラーメッセージやログファイルを指定してAIへの質問をお試しください。
10	運用・定着支援	これまでWinActorを使用して効率化した業務がどういったものかを確認できるサイトは、 公式などにありますか？	効率化した事例や具体的なユースケースは、WinActor公式サイトに掲載しております。 業種や対象業務による絞り込み検索が可能ですので、ぜひご活用ください。 https://winactor.biz/case/

WinActor初級者セミナーQ&A（2026/10/27開催）

No.	カテゴリ	質問	回答
11	運用・定着支援	シナリオ作成・修正ができるスタッフの育成と業務を整理し積極的に自動化を行っていきたいです。	自動化を積極的に進めるポイントをご紹介します。 1.完璧を目指さず、「まず1つ試してみる」 ことを目標にしてください。 【スタートアップの3ステップ】 ① 自分の日常業務から 「毎日15～30分」 行っている繰り返し作業を1つ選ぶ （例 ： Webから情報コピー → Excelに転記、定型メール送信） ② 自動記録で画面操作を録画 → そのまま動かしてみる ③ 動いたら少しずつ改良 （変数化、繰り返し化、エラー処理、など） 2.困ったときの調べ方を共有する。Copilot・ブログ・セミナーなど頼れる情報源を使う。 また、学習シナリオ・業務シナリオのサンプルが製品に同梱されており、 公式サイトでもサンプルシナリオが公開されていますので、ご活用ください。 WinActorようこそ画面の右上の切替ボタンで、学習シナリオや業務シナリオのサンプルを表示できます。 WinActor公式サイトではExcel・ブラウザ・ファイル操作等を中心に、 簡単な事例をベースとしたサンプルシナリオを提供しています。 https://winactor.biz/samplescenario/ ※本コンテンツのご利用にあたっては「WinActor Brain Cloud Library® サービス利用規約」が適用されます。
12	運用・定着支援	情報システム部門がRPAの管理(シナリオ設定や修正)を各部署に任せる方向性のため、 各部門でRPAを管理(シナリオ設定や修正)できる人が必要になってきました。 全く知識がない人に対してどのように普及させていけば良いか困っています。	弊社が実施したユーザーアンケートでは、多くのお客様から「プログラミング未経験」と回答いただいており、 通常の事務職員の方がRPAを活用している事例もあります。 一方でRPAはPC操作を自動化するツールのため、PC操作にあまり慣れていない方の場合、 最初は一定のフォローがある方がスムーズです。 そのため最初のシナリオは販売パートナー様に作成を依頼し、運用方法のレクチャーを通じて、徐々にシナリオ作成を内製化していくといった段階的・伴走型の進め方もよく取られています。
13	最新情報	使用しているバージョンが古いのですが、今回学んだ内容との操作の違いはありますか？	基本的な操作方法に大きな違いはありませんので、今回学んだ内容は旧バージョンでも参考にしていただけます。 ただし、バージョンアップにより機能の追加や改善が行われているため、画面の表示や一部の操作が異なる場合があります。 また、機能改善や不具合修正も行われていますので、可能であれば最新版へのアップデートをおすすめします。 バージョンごとの変更内容については、公式ホームページのリリースノートをご確認ください。 https://winactor.biz/product/winactor_document_list.html
14	WinActor特長	現在、他社RPAを使用しているが、将来的にWinActorの検討も進めたいと考えています。 WinActorの特長などを紹介してほしいです。	WinActorの強み 画面操作/Excel操作/ブラウザ操作などのデスクトップ全般に強く、ユーザーフレンドリーなUIで初心者向け。 「現場フレンドリー」を特長とする、国内導入企業数No.1のRPAツール （現在は8,800社以上のお客様に導入いただいております。） サポートやナレッジが充実しています。 詳細はWinActor公式サイトをご確認ください。 https://winactor.biz/rpa/winactor.html 